

笠岡工一玉野 1回玉野2死1、2塁、秋友が2塁打を打ち、2者が生還(捕手・滝)



夏の高校野球

岡山大会

玉野逆転 開幕戦飾る

夏の全国高校野球岡山大会(県高野連など主催)

は14日、倉敷市の倉敷マスカットスタジアムで開幕した。昨年と同じ59校が出場し、甲子園を目指して熱戦を展開する。開会式後の1回戦では玉野が笠岡工に逆転勝ちし、和気閉谷は作陽との投手戦を制した。15日は同スタジアムなど3球場で1回戦7試合が行われる。

玉野9-4笠岡工

2点を追う玉野は一回二死一、二塁、秋友の左翼線二塁打で同点。その後も四球や敵失で好機を広げ、9番新宮の走者一掃二塁打などで突き放した。

きょうの試合

(左が1塁側)

▽1回戦

◇…マスカットスタジアム…◇

9・00 倉敷青陵一倉敷工

11・30 岡山城東一倉敷南

14・00 高梁一岡山理大付

◇…倉敷市営球場…◇

9・00 岡山南一おやかま山陽

11・30 笠岡商一岡山学芸館

◇…エイコンスタジアム…◇

9・00 林野一津山商

11・30 水島工一岡山一宮

きのうの成績

▽1回戦

◇…マスカットスタジアム…◇

笠岡 工 200 020 000 | 4

玉野 601 010 10X | 9

【笠】木山、北殿一滝【玉】新宮、忠政、加藤、井下一秋友▽三塁打 安井、岩崎星(玉)▽二塁打 滝(笠)秋友、新宮(玉)

作和 陽 000 000 000 | 0

気閉 谷 000 000 20X | 2

【作】荒木、坂手一武田【和】有吉藤原▽本塁打 藤原(和)▽二塁打 柴田(和)

「青春の1ページ刻む」 倉敷青陵・藤沢主将宣誓

開会式は午前10時から始まり、昨年の優勝校の創志学園を先頭に59校の約1000人が行進。選手宣誓では倉敷青陵の藤沢孝介主将が「目の前の一球に全力を注ぎ、最後の瞬間まで諦めず、青春の1ページとして心に深く刻み込む」などと力強く決意を述べた。

部員たちと一緒に文案を練ったという藤沢主将は『仲間と明日も明後日も、もっと野球をしたい』という気持ちを特に強く込めた。チーム一丸となって全力で試合に臨む」と意気込んだ。



選手宣誓をする倉敷青陵の藤沢主将(倉敷マスカットスタジアムで)

2年生 攻守支え

①…玉野の2年生捕手・秋友が、開幕戦で硬くなっていたチームを救った。公式戦初先発というエース新宮が、緊張で「右手の感覚

笠岡工は五回に滝の適時打などで2点を返したが、及ばなかった。

がなかった」と先頭打者に四球を与えると、「小6の弟の方が良い球を投げるんじゃないか」と笑顔で声をかけ、平常心を取り戻させた。5番打者としても3安打2打点。「自分もミスをしていたので、気持ちで打った。一つ勝って、みんなも波に乗れそう」と話

した。和気閉谷2-0作陽

均衡破る第1号

①…和気閉谷・藤原が放った大会第1号本塁打は、決勝の一発となった。七回一死、相手のエラーで初めて走者が塁に出ると、「チャンス」と集中力を高めた。それまでは2打席連続の内野ゴロ。力まないよう心掛けて内角を振り抜くと、打球は放物線を描いて右翼席に飛び込んだ。2回戦は前回準優勝の玉野光南だが、「やるべきことをやれば勝てる。相手はどことだろうと関係ない」と力強く語った。

和気閉谷は七回二死二塁、4番藤原がチーム初安打となる右越え2ランを放って均衡を破った。先発有吉は7安打を浴びながらも要所を押さえて完封した。作陽は、先発荒木が七回一死まで一人の走者も許さない好投をみせたが、打線が援護できなかった。